

ベトナム・バクニン省での 廃棄物発電事業について

2021年 10月 25日

JFEエンジニアリング株式会社

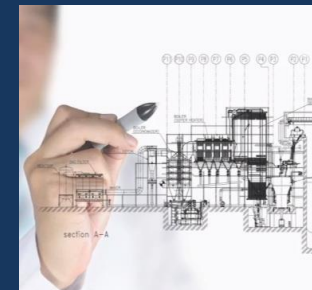


JFE ホールディングス

JFEエンジニアリング

環境・エネルギー・鋼構造
分野等で最新技術を提供

連結人員 約10,600人
2020売上 4,857億円



JFEスチール

鉄鋼事業

連結人員 約46,000人
2020売上 22,552億円



ジャパンマリンユナイテッド

造船事業

(出資比率)

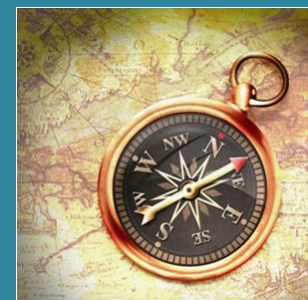
JFEHD	35%
IHI	35%
今治造船	30%



JFE商事

商社事業

連結人員 約 7,900名
2020売上 9,325億円



海外:460億円

グループ他

リサイクル・発電
事業本部

電力ビジネス

環境本部

環境プラント

売上高
4,857億円
('20実績)

社会インフラ本部

橋梁

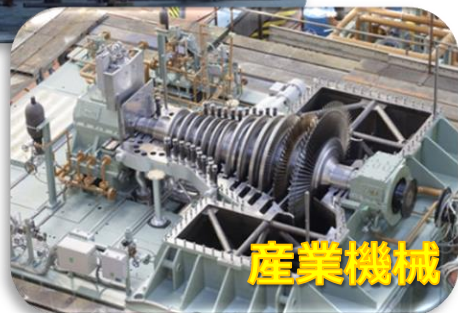
水処理プラント

エネルギー本部

産業機械

エネルギープラント

発電プラント



中長期ビジョン：2030年の事業の方向性

くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」 Just For the Earth

当社の使命は、安心、安全な社会を創り、人々の“くらし”を力強く支え、
そしてそれを次世代につなげること。

ひたむきに、地球と人々のために。

事業を通じたSDGsへの貢献（事業規模増⇒貢献拡大）

JFEエンジの事業で取り組む7つのゴール

6 安全な水とトイレ
を世界中に



安全な水

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



エネルギーを
クリーンに

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



産業と技術
革新の基盤

11 住み続けられる
まちづくりを



住み続けられる
まちづくり

12 つくる責任
つかう責任



つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動への
具体的な対策

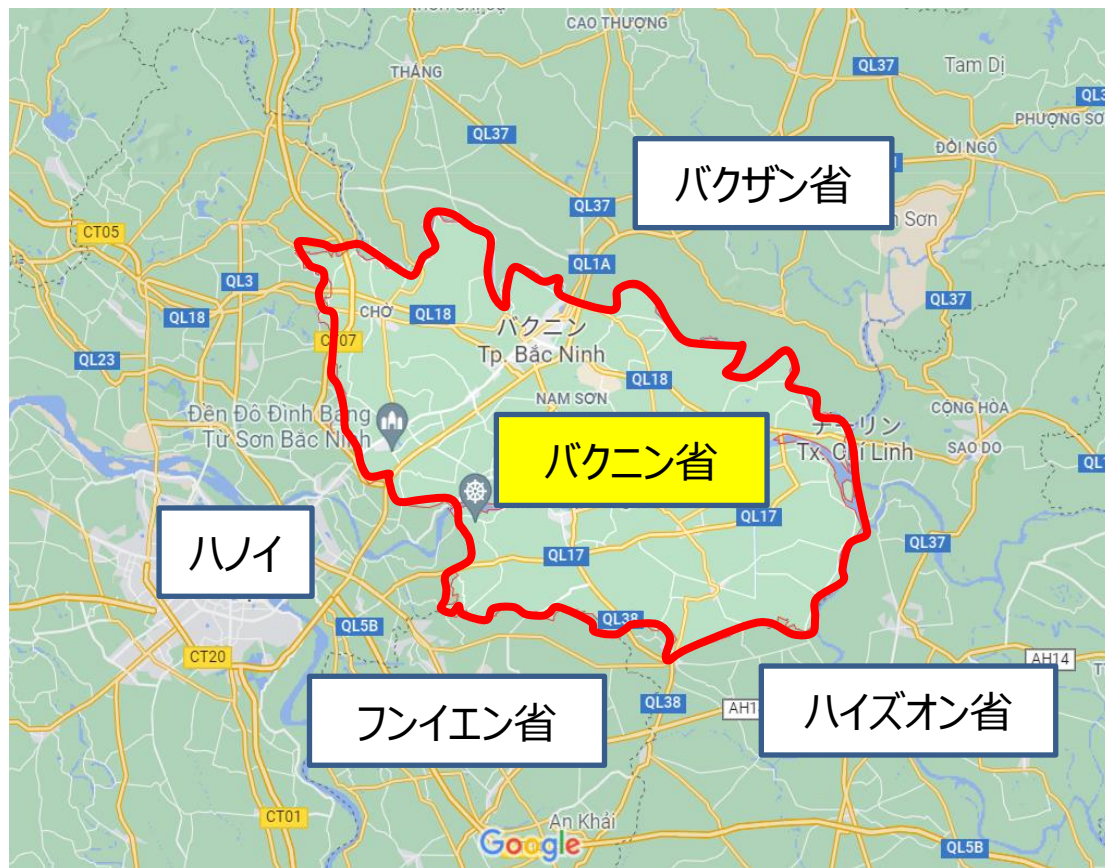
14 海の豊かさ
を守ろう



海の豊かさ
を守る

事業内容	バクニン省での非有害廃棄物の焼却・発電事業
事業体制	JFEエンジニアリング（JFEE）とベトナム北部の廃棄物処理大手企業（T社）との合弁事業
処理廃棄物	一般廃棄物：350t/日 産業廃棄物：150t/日 合計：500t/日
設備概要	ストーカ方式：500t/日（1炉） 発電端出力：約11MW
EPC担当	JFEE
売電	固定価格買取制度（FIT）により、 売電単価は10.05米セント/kWh（20年間固定）
運転開始	2024年2月より商業運転開始予定
その他	「令和3年度から令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業）」（JCM補助金）の交付決定済み

ハノイに隣接し、他地域の省と繋がる便利な交通システムを備えた北部の主要経済区。
日本企業含む外資系企業の工場が多く集積（サムソン、ペプシコなど）



主な工業団地：

- イエンフォン工業団地
- クエボ工業団地
- ティエンソン工業団地
- ナムソン・ハップリン工業団地
- VSIP バクニン工業団地
- トゥアンタイン工業団地
- ダイドン・ホアンソン工業団地
- ハナカ工業団地

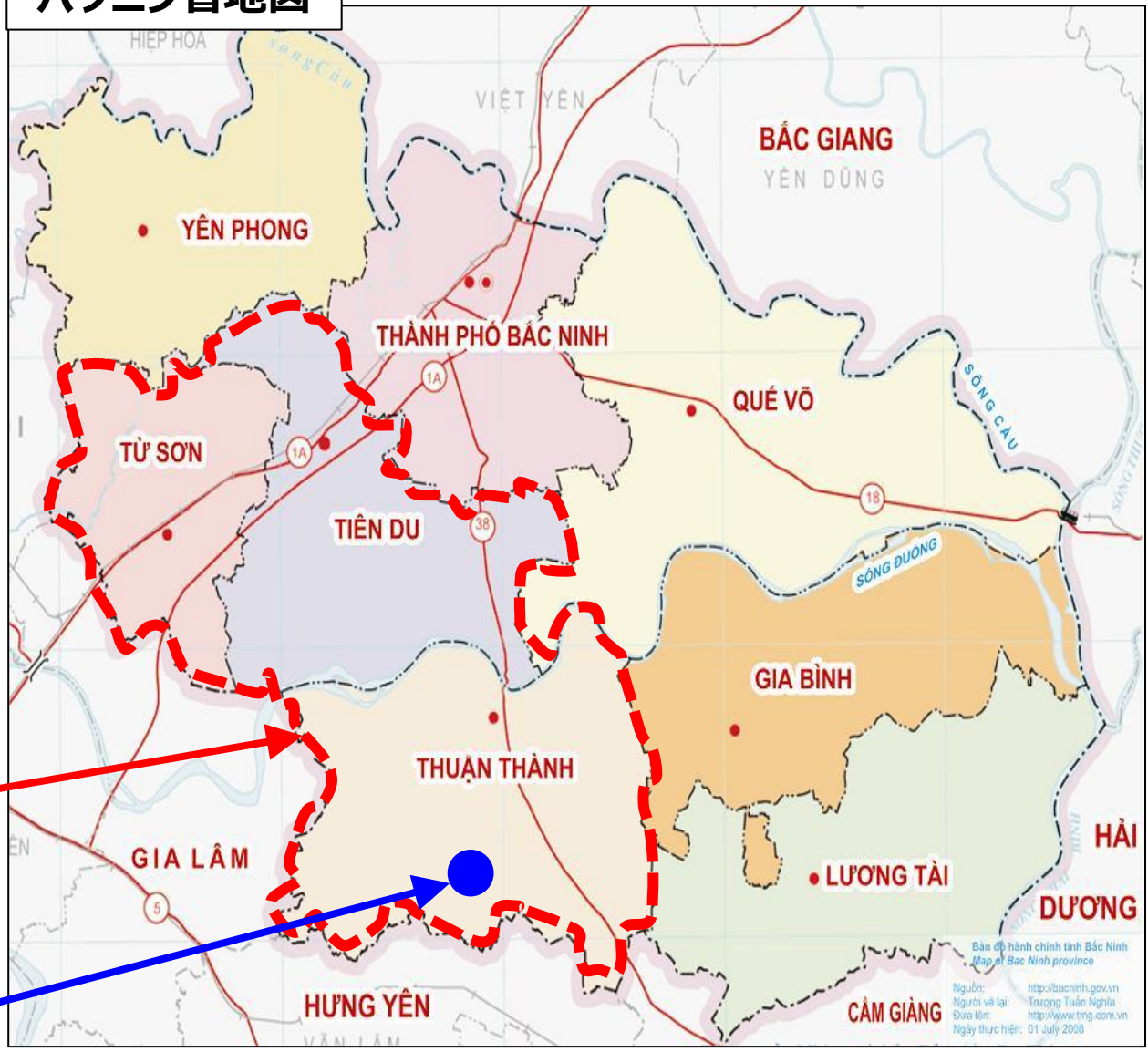
面積：822.7 km²（東京23区 627.6 km²）

人口：137万（2019年）

新炉建設予定地



バクニン省地図



一般廃棄物は
赤枠の3地区から収集

建設予定地

主要関係者の役割分担

主要関係者	役割分担	
	資金	事業
JFEE	出資	プラントの設計・施工、O&M支援
T社	出資	事業権取得、許認可取得、廃棄物収集
環境省、GEC	JCM補助金	—
銀行	融資	—
バクニン省	—	土地賃貸、一般廃棄物排出
ベトナム電力公社	—	電気の買取

ご清聴ありがとうございました